

# 防災公園の整備による避難所機能の強化

**概要** 要：佐賀県武雄市にて災害時に地域防災拠点となる防災公園整備（体育館・駐車場・園路）を実施し、500人の避難者収容力を確保。令和6年台風第10号の際は避難所として避難者の受け入れを行った。

**対策名**：29 防災公園の機能確保に関する対策＜5か年加速化対策＞【国土交通省】

- 実施主体：佐賀県武雄市
- 実施場所：佐賀県武雄市（白岩運動公園<sup>しらいわ</sup>）
- 事業概要：災害時に地域防災拠点となる防災公園整備（体育館・駐車場・園路、敷地面積4.0ha）を実施。
  - 災害時の避難可能人数0人→500人
  - 災害時救助・救命活動支援車両駐車可能台数58台→270台
- 事業費：23億円（令和2年度～令和5年度）

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
公園整備事業	防災公園整備	約23億円	R2～R5
うち5か年加速化対策 （加速化・深化分）	防災公園整備	約19億円	R2～R3

## ■ 災害の外力、被害と効果

- 8月28日の台風第10号において武雄市民体育館に避難所を開設したところ、29名の避難者があった。避難所の空調設備により、避難所において熱中症などの体調不良は発生しなかった。
- 平常時は市総合防災訓練の会場として、自衛隊による給食支援や入浴支援等の訓練を実施。
- 避難所運営マニュアルの策定（策定主体：武雄市防災・減災課）により、迅速な災害対応を実施することで、災害時の避難所運営対応を高度化。

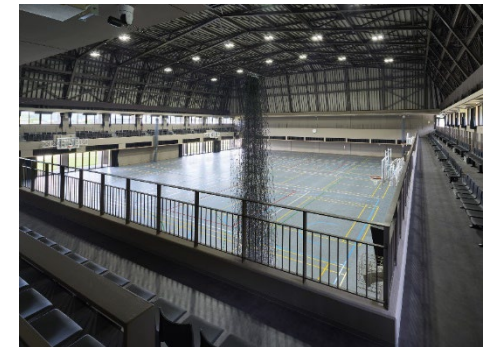
整備区域全景



市総合防災訓練の様子



避難所となる体育館屋内



## ■ 全国の対策実施状況

指標	R5 （実績）	R7 （目標値）
機能を十分発揮させるために整備が必要な防災公園（約160箇所程度）の対策実施率（%）	78%	80%